

# ハラスメントと健康被害

看護情報学特論 I

公衆衛生看護学 修士1年 疋田蘭

# このテーマを決めた理由

〈以下のことに関して、日常的に疑問があったため〉

- 何かにつけて「ハラスメント」が問題視される現代社会で、どこからどこまでがハラスメントで何に対してもハラスメントって言えるのだろうか？
- そもそも「ハラスメント」の定義って何なんだろうか？
- ハラスメントによる健康への影響（健康被害）ってどのようなことが考えられるだろうか？



# 本日の内容

- **ハラスメントの定義**
- **ハラスメントの種類**
- **ハラスメントのグレーゾーン**
- **ハラスメントによる健康被害**

# ハラスメント(harassment)の定義

◇人を悩ますこと。地位や立場を利用した嫌がらせ。「セクシャル・ー」(広辞苑第7版)

◇harrass: 困らせる、悩ませる、攻撃する(シブプリー英語語源辞典,2009)

◇harrass: annoy or worry somebody by putting pressure on them or saying or doing unpleasant things to them.(誰かにプレッシャーを与えたり、そのようなことを言ったり、不快なことをすることによって、相手を苦しめたり困らせたりすること)

例) She claims she has been sexually harassed at work.(彼女は職場でセクシャルハラスメント(性的な嫌がらせ)をされたと主張している。)

◇harrament(名詞): racial/sexual harassment(人種・セクシャルハラスメント)  
(オックスフォード現代英英辞典第8版)

# ハラスメント(harassment)の定義(つづき)

- ◇他者に対する発言・行動等が本人の意図には関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益を与えたり、脅威を与えること(大阪医科大学)
- ◇職場のパワーハラスメントとは、「同じ職場で働く者に対して、職務上の地位や人間関係などの職場内の優位性を背景に、業務の適正な範囲を超えて、精神的・身体的苦痛を与える又は職場環境を悪化させる行為」と定義(厚生労働省HP)

# ハラスメントの種類

## 【よく聞く・使うハラスメントの用語】

- パワハラ(パワー・ハラスメント)
- セクハラ(セクシャル・ハラスメント)
- モラハラ(モラル・ハラスメント)
- アルハラ(アルコール・ハラスメント)
- マタハラ(マタニティ・ハラスメント)



# ハラスメントの種類(つづき)

## 今ではこれもハラスメント！

- アカハラ(アカデミック・ハラスメント)
- スクハラ(スクールセクシャルハラスメント)
- リスハラ(リストラ・ハラスメント)
- ハラハラ(ハラスメント・ハラスメント)
- ゼクハラ(ゼクシー・ハラスメント)
- テクハラ(テクノロジー・ハラスメント、テクスチュアル・ハラスメント)
- ドクハラ(ドクターハラスメント)
- スモハラ(スモークハラスメント)
- ブラハラ(ブラッドタイプハラスメント)
- エイハラ(エイジハラスメント)
- シルハラ(シルバー・ハラスメント)
- マリハラ(マリッジ・ハラスメント)
- スメハラ(スメル・ハラスメント)
- エアハラ(エアー・ハラスメント)
- ソーハラ(ソーシャル・ハラスメント)
- パーハラ(パーソナル・ハラスメント)
- レイハラ(レイシャル・ハラスメント)
- ヌーハラ(ヌードル・ハラスメント)
- フォトハラ(フォト・ハラスメント)
- カスハラ(カスタマー・ハラスメント)
- カジハラ(家事・ハラスメント)
- ラブハラ(ラブ・ハラスメント)

Etc...

今ではいろいろな  
ハラスメントがある！？

# ハラスメントの例①

## 【ソーハラ(ソーシャル・ハラスメント)】



部下や後輩と仲良くなりたいがためによかれと思って、相手のSNSにフォロー申請することや、いいねを押すこと等が相手にとって監視されていると思わせること

## ハラスメントの例②

### 【ドクハラ(ドクター・ハラスメント)】

あなたは早急に手術する必要があります！

信用できないのであれば他にどうぞ！



必要のない手術や治療、検査、高額な保険外治療を必要不可欠に見せかけるなどの行為のことで、治療を行う立場の医者が患者に精神的負担を与えること

# ハラスメントのグレーゾーン



誰がみても大丈夫、これはハラスメントではない

このへんは大丈夫？  
NG？どっちかな？

誰がみてもハラスメント

例) セクハラの場合

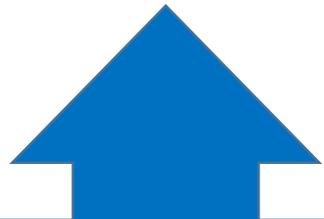
無自覚なセクハラ

意図的なセクハラ

# ハラスメントと健康被害

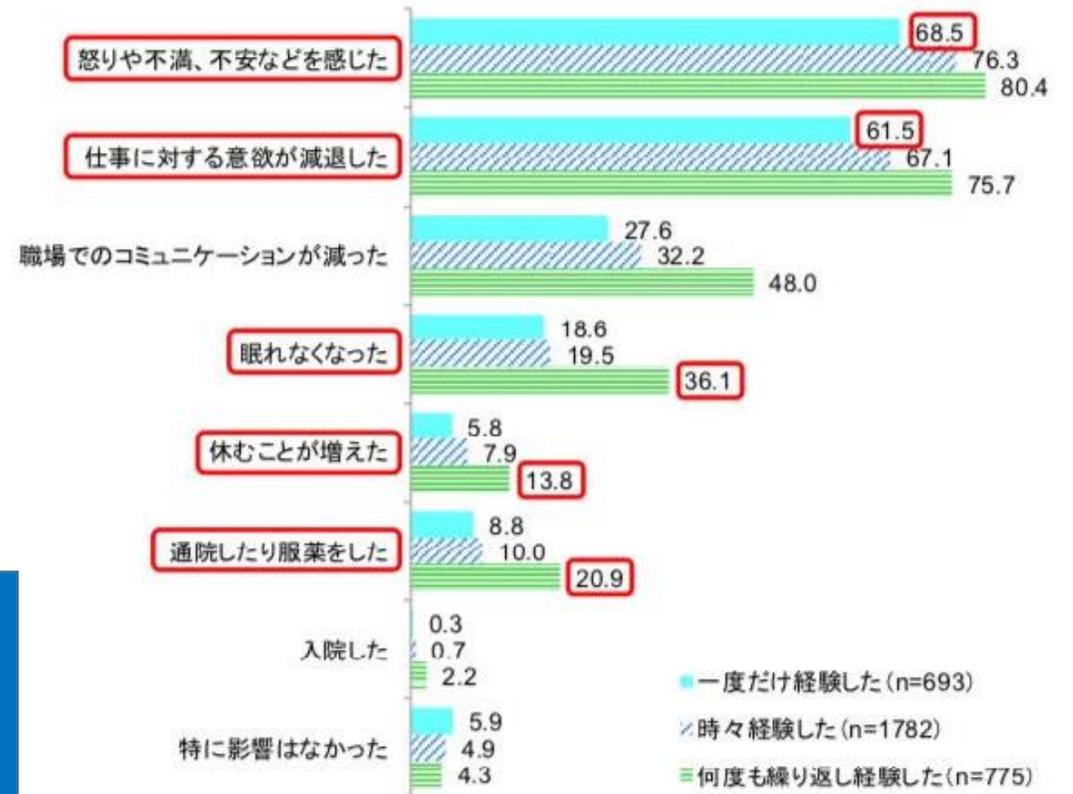
厚生労働省は「**職場のパワーハラスメントに関する実態調査について**」平成24年度、平成28年度に調査を行い、情報を厚生労働省のHPで公開している。

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000165756.html>



3365個の相談窓口を設けている企業従業員から相談の多いテーマ(2つまで)を聞いたところ、**パワーハラスメントが32.4%**と最も多く、**メンタルヘルスが28.1%**、**セクシャルハラスメントが14.5%**を上回っていた

図表 20 パワーハラスメントを受けたと感じた場合の心身への影響  
(複数回答、過去3年間にパワーハラスメントを受けたと感じた経験の頻度(図表19参照)別)



上記図:平成28年度厚生労働省委託事業職場のパワーハラスメントに関する実態調査報告書(概要版)p. 21より引用

# ハラスメントと健康被害に関連する例

～Twitterで「ハラスメント」「健康」で検索した話題のツイート～

The image shows a screenshot of a Twitter search page for the terms "ハラスメント 健康". The search results are displayed in a grid. A large blue callout bubble is overlaid on the screen, containing the text: "どうやら女性の健康について「パンプス」がハラスメントと関連して話題になっている?!" (It seems like "pumps" are becoming a topic related to harassment regarding women's health?).

Visible tweets include:

- 男女で同じ能力が足を履かされ、身で、そのことで成は男女平等とは言は十分ハラスメン #KuToo
- 【禁🙄】嫌なことを強制するとかハラスメントがビジネスマナー... 強制的にはハラス
- 反パンプス運動「痛い靴で働くのは嫌」は当たり前 business.nikkei.com

The Twitter logo is visible in the bottom right corner of the screenshot.

# ハラスメントと健康被害に関連する例

～Twitterで「ハラスメント」「健康」で検索したら話題のツイート～

## KuToo運動

「靴」と「苦痛」をかけたもじった造語。働く女性や就職活動をする女子学生の中から「#KuToo」運動としてハイヒール強要について上がった抗議の声。

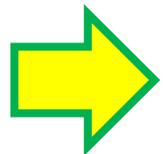


**パワーハラスメント、ジェンダー・ハラスメントがこれに該当するのでは？！**

**「なぜ足を怪我しながら仕事をしなければいけないのか」とハイヒール強要の職場で理不尽な思いをした実体験を持つ女性が「職場でのパンプス、ヒール靴の強制をなくしたい」とネットで呼びかけた結果、1万9000人近くにのぼる署名が集まり、大手企業の学生採用面接が解禁される6月に合わせて厚生労働省へ提出された**

# まとめ

- ▶ ハラスメント (harassment) の定義は、今回使用した辞書の例ではハラスメントの中でも特にセクシャルハラスメントを例にしている場合が多かった。
- ▶ ハラスメントはグレーゾーンを考えることが大切だと考える。
- ▶ ハラスメントの用語は多様化し、言葉や態度だけではなく、SNSを含むネット環境を利用したハラスメントも横行している現状がある。
- ▶ ハラスメントは、健康被害に関連し、その要因になり得る。
- ▶ 自分は意識していなくてもハラスメントになる場合があるため、「今日は被害者、明日は加害者」になりかねない。ハラスメントは、相互作用で生じると考える。



自分の言動に責任をもち、相手を思いやる気持ちは大事と考える！

# 参考・引用文献

- 厚生労働省HP

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000126546.html>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000165756.html>

- 大阪医科大学

<https://www.osakamed.ac.jp/deps/jinji/harassment/definition.htm>

- 日本経済新聞出版社(2018.02.01)

<https://www.nikkeibook.com/archive/2018/02/106979>

- 日経ビジネス電子版(2019.06.05)

<https://business.nikkei.com/atcl/seminar/19/00030/060500018/>